

# 王滝村 議会だより



今日からピカピカの1年生（4月4日入学）

25年度当初予算他を可決 .....	2 P ~ 5 P
一般質問・補正予算・臨時会・スキー場別委員会報告 ...	6 P ~ 12 P
木曽広域連合議会報告他 .....	13 P

No.119

# 25年度一般会計予算可決 総額16億5,069万円2千円

対前年度比2億903万円 14.5%増の「大型編成」

3月定例議会の1日目を3月8日に、2日目を21日に開き、村長提出議案26件と議員提出議案3件の計29件について審議した。一般質問は4名の議員が行った。

## 【主な歳出予算】

村道41号線の拡幅改良工事に1億608万円

- ・道幅が狭く、カーブが続く八海山地区の約500メートル区間の改良工事に平成26年度までの2カ年計画で着手する。

銀河村キャンプ場内の浄化槽整備の経費として

4,407万円5千円

- ・26年度に指定管理制度へ移行するため施設整備。

販売価格の2割分を上乗せする地域商品券事業に1,870万円

- ・村内のみで使える1万2千円分の商品券を1万円で1,500セット、村民に対して販売する。

農作物に対する野生鳥獣被害防止パトロールの経費に162万円

- ・7月から11月までの5カ月間、村内の見回りをしながら、サル等の駆除を行う。

地域おこし協力隊事業費として810万8千円

- ・都市住民が村内に住民票を移し、地域に住み込んで「地域協力活動」を実施する事業。



村道41号線(八海山下)



おんたけ銀河村キャンプ場

山岳し尿処理施設整備補助金として1,020万円

- ・御嶽山剣ヶ峰山荘トイレ改修事業補助金。

王滝バス停トイレ兼待合所建設費1,637万5千円

- ・王滝バス停にトイレ付きの待合所を新たに建設。

イルミネーションプロジェクト経費318万4千円

- ・村公民館周辺を冬期間LEDで電飾するための経費。

公民館改修工事費として945万円

- ・公民館トイレの改修工事費。

集会施設管理費として30万7千円

- ・東区、九蔵区、二子持区の集会施設改修経費。

バス待合所設置費として370万円

- ・中越区、二子持区バス停に待合所を設置。

災害対策費として503万円

- ・東日本大震災をうけ、新たに県が策定した防災計画に沿った形で、村の防災計画を修正するための委託料。

## 当初予算質疑応答

### 問（胡桃澤）

- ・地域おこし協力隊事業について伺いたい。

この事業は、総務省の特別交付税によってNPOに対する業務委託料として予算計上されているが、あくまで実施主体は地方自治体である。また、この事業に対する特別交付税の財政支援は最長3年と明記されている。4月から協力隊員の募集を始めたとして、実際に生徒募集をできる段階まではかなりの時間が必要だ。

財政支援の3年目でやっと本格的な活動が始められるような事業ではないかと思う。

総務省による財政支援終了後、村としてこの事業をどのように支援していくのか。

実施主体である村として、この事業に対する将来ビジョンを明確にしてもらいたい。

### 答（村長）

・この事業に対する財政支援は最長5年までと聞いている。この期間で安定した運営ができるような形を考えていきたい。

### 問（胡桃澤）

- ・登山道補修工事について伺いたい。

田の原遊歩道の補修工事費のことだと思うが、今年度は220万円をかけて行っている。来年度は500万をかけて、どこまでの補修を行うのか。

### 答（産業課長）

・入り口から見て右側の遊歩道補修を25年度で終了させる予定でいる。今後は左側の遊歩道の補修について検討していく。

### 問（田中）

・企画費の報償費に計上している地域おこし協力隊事業810万8千円の事業内容は。

### 答（企画財政課長）

・地域おこし協力隊事業は総務省が地方交付税を財源担保して実施している事業で都会の若い人材を一定期間派遣して地域の振興の手助けをするという趣旨だ。

本事業は従前の「子供の森」とは運営タイプが異なる、いわゆる「山村留学」の平成26年度の立ち上げを目途として、都会から応募する2名の人員費（報償費）と事業企画立案のための委託料である。

### 問（田中）

・現在閉館している「山村交流センター」を使うことを前提としていないと聞いているが、教育委員会が主管し、民間委員で構成している「交流センター運営協議会」の組織化もされている。計画の具体化には当然、教育委員会、学校との調整が不可欠だが企画サイドの予算立てだけでこれらをサポートする教育費等の予算が伴わずに初期の目的が達成されるのか不安に思うが。

### 答（村長）

・教育委員会サイドとの実務調整は不可欠だが、どのような形で方針化するかは新年度から新たに始まる論議なので具体的な内容が未定の段階で関連予算の計上はしなかった。

### 問（田中）

・企画費のバス待合所建築工事費として370万円計上されており、2か所とのことだが小規模建築工事であり、部材組み立てのキット工法なども考慮しているのか。

### 答（企画財政課長）

・地区要望の事業だが具体的工法については今後庁内関係課とも調整したい。



二子持バス停



**問（下出）**

・温泉への補助金について平日金曜日も営業を行うこととしたのに対し、最近平日金曜日の営業が行われていないが、その訳を聞きたい。

**答（住民課長）**

・議会にお示ししなかったことはお詫びします。平日金曜日の入り込みは土日でも思わしくないことから休みとしておりますが、入り込みが伸びれば平日でも行って行くよう側面的な支援を行っていきたい。

**問（下出）**

・関連事項として、スキー場を除く指定管理施設の基本協定はどのようになっているのか。

**答（村長）**

・各々の管理物件は整理しているが、その都度協議を行いながら進めている。

**まとめ（下出）**

・管理物件は基本理念の基施策上ぶれることなく協定（規約）を定め進めていただきたい。

**要望（下出）**

・議場のエアコン改修費については、村政運営面から捉え、また緊急的避難措置としては捉えられない。従ってこの上程案は反対します。

予算修正としては行いませんが、執行を見合わせていただきたいことを提案します。

**問（下出）**

・有害鳥獣パトロール隊事業について、どういった成果を見込み、モンキードック事業との関連性について伺いたい。

**答（産業課長）**

・収穫期7月1日からパトロール隊（2名体制）により実際有害従事者による銃を使った駆除を行う。モンキードック事業とは別である。

**問（下出）**

・緩衝帯整備の現状と課題についてどうなっているのか。

**答（産業課長補佐）**

・25年度は約2割を予定、昨年九蔵地区においてサルによる水稻被害が発生、九蔵地区尾島及び村木周辺を見透しを良くし捕獲の実効性を高める緩衝帯整備を行う。単体事業ではなく、モンキードック含めた総合的事業であります。



稲を食べるサル

**問（下出）**

・地域振興券について、経済効果と地域活性化にどう結びつくのか。

**答（産業課長）**

・木曾町商工会より地域発展に向けた要望があり今回3年前と同じ内容として消費拡大、景気回復に発揮されるものと確信しております。

**問（下出）**

・銀河村キャンプ場整備事業について、今回の浄化槽整備は指定管理者制度へ移行させる手段とした整備事業と思うが、隣併せとして考えられる管理センターですが、現在は観光事業会計として行っているが今後どのような考えをもっているのか伺いたい。

**答（産業課長）**

・この物件は、スキー場管理制度の物件に入っておりキャンプ場としての考え方ではなく別であります。

**まとめ（下出）**

・管理センターも含め、今後インフラ整備・景観整備など含めた整備の実現を進めていただきたい。

### 要望（下出）

・防火水槽改修工事について、危険性、防災性、耐久性など考慮し計画的に進められているが、中越学さん宅上部の防火水槽が腐食状況にあり、また蓋網部が破れ危険性が高いので、喫緊課題として取り組んでいただきたい。

### 問（立花）

・母子保健事業費のうち理学療法士派遣負担金と、教育費小学校管理費の村雇用教員賃金の内容を伺いたい。

### 答（住民課長）

・5歳児検診の折に来ていただき、発達障害や機能障害について専門的な立場から見て、その後の対応を図るための派遣費である。

### 答（教育次長）

・村雇用教員は25年度は1人であるが、スクールカウンセラーの賃金を増額している。

### 問（立花）

・理学療法士もスクールカウンセラーも、子どもたちが生活していく上での困難さを解消するために必要な役割で、その費用が増額されたことは評価できる。子どもたちの困難さは乳幼児期から学齢期に達した後も継続するので、それぞれの担当から相互に働きかけ歩み寄って、情報を共有しながら進めていただきたい。

### 答（教育長）

・保健師・保育士・教職員が連携し、情報は紙ベースで作成するよう計画している。

### 問（立花）

・企画事業諸費（イルミネーションプロジェクト）について、県の元気づくり支援金へ申請しているとのことだが、財源内訳の特定財源に記載がないのは何故か。

### 答（村長）

・県の元気づくり支援金申請はしてあるが、姿勢として採択されなくても、一般財源を使ってでも実施したいという意思表示だ。

### 問（立花）

・村有施設の整備・撤去について、ヒアリングが行われ、これから優先順位をつけてとりかかろうとしている。この時期に限りある財源を使って実施したい事業か。

### 答（村長）

・村有施設の整備・撤去とイルミネーションプロジェクトは、同じステージでは捉えていない。村内で個人的に実施している家庭もある中で、冬の楽しみとして村でも企画したい事業である。



村内のクリスマスイルミネーション

### 問（立花）

・25年度予算編成方針に「職員一人ひとりが時代の変化や、住民ニーズを的確に捉え、事業の必要性と効果を十分説明できるものになっているかを再度検証し」と記載されているが、この事業はこの要件を満たしているかと判断しているか。

### 答(村長)

・私自身はそう思っている。

### 問（立花）

・指定管理者制度の施設への補助金は、スキー場2,000万円、木材加工施設85万円、文化会館76万円、王滝の湯60万円（運営費補助）と40万2,000円（光熱水費）でいいか。

### 答（村長）

・そのとおりである。

# 一般質問「そこが知りたい」

本文は質問者の執筆をもとにしています

## 西部地震追悼式典について 三浦 征弘

### 西部地震追悼式典について

問 昨年行われたこの式典のやり方に疑問を感じている。村がやるのだから議会にも伝え、一緒にやるのが筋と思いませんか。又殉難者家族にも直接伝え協力をお願いし、全村的にやるべきではありませんか。広報無線だけではおかしいと思う。

答 昨年8月31日に王寿会から要請があり（時間的に）議会や殉難者家族に伝えられなかったことを反省している。今後はしっかりとしたやり方をしなければいけないと考えている。

まとめ この式典は全村的にやるべきだ。直接の関係者に広報無線で知らせただけではおかしい。

### 政治と宗教について

問 以前 お聞きしたが確認の意味で又お願いします。村にはお寺、神社、観音堂、三浦大夫など宗教的と思われるものが幾つもある。各区分はこれを末長く守っていかねばならない。

しかし昨年滝越の観音堂の修理では村はこの経費を認めなかった。（この件だけで質問するものではないが）村長の政教分離の考えがよく分からない。今一度お聞きする。

答 議員からは過去に2回質問を受けているが憲法20条と89条がある。文化財の指定も受けていない。可能なのは「元気づくり支援金」の村内版である「王滝村コミュニティー助成事業の実施要綱」を見直しサポートしていきたい。これは今すぐは出来ない。該当するものは村内にどのくらいあるか、又財政的な問題もあるからだ。

前より前進的に答えている。

### まとめ

村にあるのは憲法に言う宗教ではない。又 村長の言うコミュニティー助成事業でも所詮「公費」である、言っていることが矛盾している。

## 村長在任二期目の最終となる平成25年度当初予算編成を終えて

田中秀夫

### 財政再建について

問 村は膨大なスキー場債務問題から平成16年には木曾町との合併論議が頓挫し、翌年5月には「財政非常事態宣言」を発表したものの自治体の実質の破産ともいえる「財政再建団体」への転落が確実視され、王滝村にとっては性格こそ違え、牧尾ダムの建設や長野県西部地震などに匹敵するような一大事件だったことはまだ住民の記憶に新しい。平成18年2月に瀬戸村政が誕生した際には過去4カ年近く続いた金融機関への返済滞納に加えて一時は16億円近くあった基金（村の貯金）もほとんど払底し、ゼロどころかマイナスからの再建だったというのが偽りのない実態だったと思う。

聖域のない歳出の徹底見直し、更には職員給与を中心とする前代未聞の大幅な人件費カット、住民組織との協同などあらゆる手立てを総動員してきたことは、多くの住民が知るところである。

平成25年度予算においては、スキー場関連の債務返済残高はゼロとなり、実質公債費率など自治体財政の健全度を示す数値も格段に改善される。

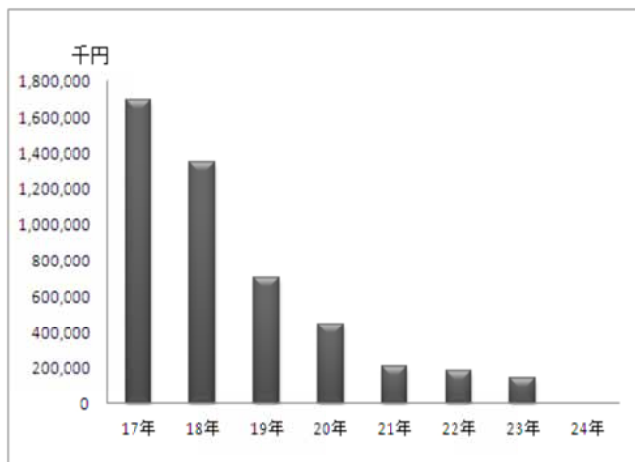
「再建団体として国の管理下に置かれることは避けられず、それでも再建には最低でも10年はかかる」という当時の一般論にも拘わらず極めて短期間に再建目標を達成しつつある現状の総括と今後の財政運営についての基本的な所感を伺う。

答 公共事業をゼロベースとしたことは当然として、100項目を超える聖域なしの徹底した歳出見直し、5年間に亘る職員給与等の削減などの自助努力に加え、国の地方交付税交付金が予測を上回ったことも好材料だった。平成12年度からスキー場債務返済に充てた一般会計繰り出し金は約30億円に及ぶが、そのうち歳出削減など実際に住民、職員



が痛みを分かち合って捻出した金額は約12億円と認識している。ここまで漕ぎ着けられたのは、一にも二にも当初から大きな危機感を持って自助、共助、公助の精神の下で多大なご理解と協力を頂いた住民のお蔭と深く感謝している。

村の今後の財政運営は国の地方施策を注視していかざるを得ないが、昨今の国内外の状況から財政規模そのものは、しばらく縮小していきだろう。将来の再投資に大きなお金のかかる上下水道などについては今から維持保全計画に取り組むなど、少ない予算額ながらハードとソフトのベストミックスを念頭において参りたい。



#### スキー場債務残高の推移

**問** 財政担当の資料によると瀬戸村長就任時（平成17年度末）の企業債（スキー場債務）の元金残高は、13億9千万円になっているが、リース資産の償還金や利息を含めた債務残高の総額は実際のところ幾らだったのか。

**答** 約16億9千万円だったと確認している。

#### 観光振興と雇用について

**問** 人口の減少、少子化、超高齢化社会は、当村でも老人福祉、児童福祉、学校教育、防災、集落維持その他多くの分野で様々な課題に直面している。生活環境もさることながら、当村としては観光事業の衰退とともに雇用の場の縮小が一番の悩みだ。2240スキー場は指定管理者の中途撤退にも拘わらず昨シーズンも休止することなく村営で運営し、今シーズンは新たに指定管理者への財政出動も合わせて実施し、今後のスキー場維持を明確化したことは現実的な施策選択だったと評価できる。年々盛況となっているセルフディスカバリーレース、御岳湖ハーフマラソンなど、スキーも含

めたスポーツ観光など観光振興と雇用拡大について現状の認識と将来の展望について伺う。

**答** 入込が大きく減ったとはいえ、観光は第4次長期振興計画上也当村の重要産業と位置付けている。2240スキー場もピーク時に較べて十分の一の入込実態だが、住民の理解も進む中で弱含みながら回復ムードも感じている。スポーツに限らず着地型、体験型観光に着眼していきたい。これまでとかく行政が主導した王滝村観光だったが、事業者サイドからも積極的なアイデア、意見を頂いて村としては資金も含めてサイドサポートするのがこれからの観光づくりの姿だと思う。

**問** 当面の財政危機を乗り切ったというだけで大きな公共投資が出来る現状ではないことは承知しているが、老朽化した観光施設の中にも手を加えればそれなりに投資効果が見込めるものもある。リニューアルなどの再投資を僅かずつでもしていかなないと観光経済のパイは益々小さくなる訳だが、雇用環境がボトムラインまで下がってしまうともはや産業として成り立たなくなることを危惧しているが。

**答** ご意見の趣旨は理解するが、国内外の人口、経済など各種の構造変化のことも考慮すると観光だけに留まらず、農林業、商工業の将来も深刻に受け止めている。村の様々な資源を組み合わせたスポーツ観光、体験型や癒しの観光を視野に入れていきたい。村の自然環境を利した企業立地もこれからは可能性が広がるものと考えており、事案があれば企業立地促進法なども活用して新しい雇用の場の創出を図って参りたい。



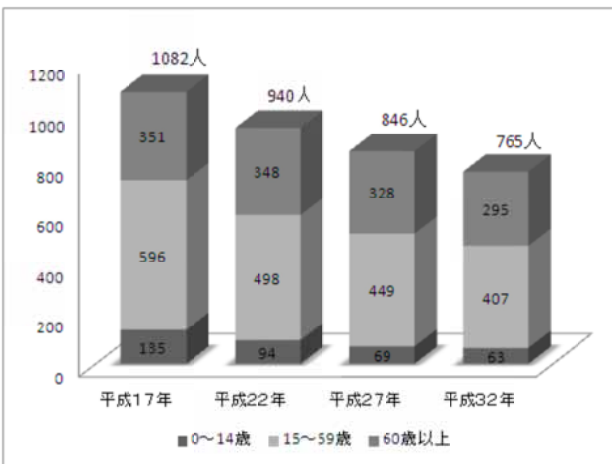
おんたけ2240スキー場（スキー大会）

## 地域づくりに関する所感について

**問** 人口の減少、少子高齢化は今や都市部も含めた日本の国家的な課題になっており、特に地方の実態は年々厳しさを増している。道州制論議などもあり、地方自治体の将来が如何なるものになろうとこの地域で暮らすのは私達住民だ。これは私見だが、短期のスパンで人口が何人減ったなど一喜一憂するより、小さい村ながらも身の丈に合った、人や暮らしが再生循環する産業や社会基盤を地道に志向していくことがより大事だと思うが如何か。

**答** 学校は児童生徒数が減り、基準としては複式学級もやむない状態が続いているが教員は県の加配措置や村の費用による確保により少人数ながらも学級維持している。

首長として定住者を一人でも増やしたいという気持ちは本音だ。ただ、過疎債がソフト事業にも適用できることになるなど、地域づくりへの国の考えもここ数年で変化しており、これから求められる新しい地方像についても注視していきたい。



王滝村の人口推移

**問** 定住促進も大事だが、実をあげるのは相当困難だ。これも私見になるが、定住しなくても「都市部から人とお金が流れてくる仕組みづくり」が大事で、上滑りでない「交流」がキーワードになると思うが。

**答** 平成25年度予算に計上した「地域おこし協力隊」事業もにわかに予算化したものではなく、ここ数年来交流してきた「NPOガイア、イニシアティブ」や村内のNPO法人との協議、調整を経て立案した新規事業だ。交流は今後益々重要になると思うが、定住促進と同じく地道な努力の積み重ねしかないと考えている。

## 高齢化社会の現状と課題について他

下出 謙介

### 高齢化社会の現状と課題について

**問** 高齢者世帯、一人暮らし高齢者が安心して暮らせるための支援策として、ハード・ソフト両面からの取り組み状況を伺いたい。

**答** 村の高齢化率は平成25年3月1日現在、36.4%で今後も高齢化は急速に進むと推測されます。現在、村において介護保険制度の認定を受けている全ての方が介護保険を利用されています。また、生活への支援対策として75歳以上の一人暮らしで低所得者の方へ生活保護年金、利用料の負担を軽減するための介護サービス自己負担金助成事業といった、誰でもが住み慣れた地域で心身共に健康で、生き生きと暮らし、元気な高齢者でいられるような取り組みを行っており、介護が必要とならないよう予防事業も定期的に行っております。

**問** 出役関係の現状について、高齢者によっては各区の除雪・草刈り・用水掘り等において負担になっているところがあるが、村としてこういったことに対してどう向き合っていたただけるのか伺いたい。また、王滝村に特養老施設とか整備していく考えはないか。

**答** 特養老施設については、松塩筑木曾老人施設組合で運営しているが、現在の所新しい計画はなく、木曾でもグレイスフルなど民間企業が参入して整備・運営しています。これから利用される方の人数がどのように推移していくかもあります。村ではニーズがどれくらい見越せるか、スタッフの確保、予算などしっかりと見極めながら今後検討して行きたいと思っております。

**問** 農業集落排水施設の維持管理については管理組合が行っておりますが、地域によっては高齢などのため当番が難しい方も多く見られるようになってきております、村として区の実情などくみ取っていただき委託業務など検討いただきたいが、いかがか。



答 各々区の実情により免除など検討いただけたらと思います。また、農業排水管理組合を村が行うかどうかは状況を見ながら検討していきたいと思います。

### 空き家対策について

問 村内に老朽空き家含む空き家がどの程度あるのか、どういった状況になっているのか、また1月7日に行政連絡員会議を通して空き家の（住める・住めないといった）状況調査が行われておるようであるが、結果なども併せて伺いたい。

答 空き家状況調査を依頼し回答いただき集計の結果、59戸（住める状態の空き家37戸・住める状態でない空き家22戸）でありました。



大又地区の空家

問 空き家は、防犯上の問題だけでなく、放火の対象になりやすく、倒壊による危険とも隣り合わせになっていることから、村も条例を含む空き家対策を整備する必要があるがいかがか。

答 今後の予定として、調査いただきました空き家の現地調査を進め空き家台帳など整備行って行きたいと考えております。

まとめ 雪の多い地区で放置された空き家が雪の重みで倒壊し近隣に被害が及ぶ危険性を避けるため、条例化するといったケースも相次いでいる自治体もある。

今後空き家は、急激な右肩上がりの増加が予想されるが、長期振興計画で示している空き家の取り組みを具体的に進めていただきたい。

## スキー場債務について他 立花 裕美子

### スキー場債務について

問 観光施設事業会計の企業債は平成24年度3月補正をもって、返済完了となった。これまでの経緯を総括していただきたい。

答 田中議員の一般質問で数字的なことは述べた。総括としては、これまで協力いただいたすべての皆様へ感謝したい。今まで遅れているインフラや滞っている住民サービスを手当てしていかなくてはならないと思っている。

問 今年度当初から3月補正までで1億4,700万円余を償還し、返済終了となった。3月初めに財務係長に、返済の足取りという意味での企業債の推移についてまとめた一覧表のようなものはできないかと相談したところ、作っていただけた。これによると、平成8年のピーク時は30億4,650万円にものぼっている。これを平成9～11年までは3億円ずつ償還しているものの、平成12～15年までは繰延しつつ、逆に県の振興資金貸付を受け、5,900万円ほど債務を増やしている。この4年間をどう分析または推察するか。

答 12年当時は議会議員だった。14年に村長選に出て落選している。議員当時は公営企業会計の債務返済先送りには反対してきた。このままでは破綻すると訴えたが、多数意見が方向を定めた。しかし、このようなことを今更に取り上げるのではなく、前向きに捉える総括のしかたがいいと思っている。

問 村民への周知という点で、年度ごとの企業債の推移と当初予算額や職員給与削減率などの特筆すべき事項を掲載して、さらに総括の文を載せたものを村民向けに配布すると思うがいかがか。

答 過去のことより、これからのことが大事。債務償還のために一般会計から手当てを行ったことで、住民サービスやインフラ整備が遅れているので、今後について財政のベストマッチングを目指していきたい。

**まとめ** 何人かの村民から、債務償還の経緯を知りたいとの声を聞いたし、自分もここできちんと総括すべきと感じたので質問した。立場によって考えも違うので、村長の考えに課長のみなさんも同調されるのなら、そういう判断でいいと思う。

### 上下水道施設の改修計画について

**問** 上水道・下水道ともに計画的な修繕が必要と考えるが、資金面も踏まえた改修計画を示していただきたい。

**答** 水道施設現況として、村の中心部の王滝村簡易水道は昭和63年から平成11年に実施された下水工事とともに水道管の敷設（改修）が実施済である。溝口ほかの箇所は平成10年から17年に敷設替えされている。おんたけ高原簡易水道は昭和58年から63年、平成7年から15年にかけて一部替えている。平成18年以降は財政難で計画的な改修は実施していない。今後は計画的に改修を実施したい。下水道は昭和63年から平成11年にかけて整備した。各施設、その都度修繕しているが、管路の修繕は行っていない。平成26年度に国の補助事業で施設の機能低下状況を把握し、修繕整備構想を策定する。平成25年度にはマンホールポンプと非常通報装置の修繕等を行う。資金面は基金の取り崩し、水力発電交付金を充てるが、不足分は一般会計からの繰り出しとなる。



22年が経過する王滝処理場

**問** 上水道で一番古い管路は昭和45年敷設のものという理解でいいか。

**答（住民課長）** おんたけ高原の改修を行っていないもので、昭和43年という管路がある。

**問** 平均的な耐用年数はどのくらいと見積もっているか。

**答（住民課長）** およそ50年といわれている。

**まとめ** 50年というと、もう少し猶予はあるが、計画的に改修されることを望む。

### 少子化について

**問** 保育園保護者会から、少子化を懸念する質問文書が提出されたが、村としてどのように対応していくのか。

**答** 保護者会と日程調整を行い、3月25日に保護者会全員に声掛けをして話し合いの場を持つこととした。少子化の実情や悩み、要望などを伺いつつ、村が実施している子育て支援の内容を説明する情報交換の場としたい。少子化の問題は本村にとって喫緊に対応しなければならない問題で重要な課題である。しかし、すぐに解決できるものではない。地域全体で関係者の声を聞き行政でなにかどこまでできるのかを見極めながら、試行錯誤して結果を出していきたい。

**問** 保護者会では懇談会の案内が配付されたようだが、入園前のお子さんをお持ちの方や、既に子どもが保育園を卒園した方たちへはどのようになっているか。

**答** 保護者会からの質問であったため、それ以外の出席は考えていなかったが、傍聴は拒まない。

**問** 現在行われている少子化対策（保育料基本無料・給食費無料・村営住宅整備等）のほかに近い将来、考えている施策はあるか。また、現在の対策のPRは充分か。

**答** 平成25年度当初予算で、子育て支援に関するものは6,720万円余となっている。村営住宅整備がされて、HPにも魅力的な支援策として載せることができるようになったところである。

**問** 庁内で少子化対策のワーキンググループを立ち上げてはいかがか。

**答** 現在は考えていない。

**まとめ** とても大きな課題であり、決定的な施策や結論はすぐには出ないと思うので、未婚者も含むより多くの村民の声を聞く機会を、継続して設け進めていただきたい。

### 地域防災計画について

**問** 現況と今後の進め方について伺いたい。

**答** 現在の計画は平成13年に見直し、15年に発行したもので、職員向け防災マニュアル、住民向けパンフレットも作成した。パンフレットは各戸配布されている。村内避難所は17箇所、避難地は学校校庭、保育園園庭、小川テニスコートの3箇所。備蓄品は、米600食・毛布90枚・小型発電機3台・石油ストーブ4台となっている。

法改正に伴う修正、国や県の計画との整合を図りながら、御嶽山火山対策、土石流ハザードマップを反映させた修正を行い、平成26年3月に完成予定である。8ページの概要版を各戸配布し、電子データ化したものを職員が共有する。

**問** 村内17箇所の避難所に対して、3台の非常用電源、4台の石油ストーブという数字はどう捉えるか。

**答（総務課長）** 少ないと認識している。23年度から整備し始めたところで、今後配備していく。

**問** 課題について伺いたい。

**答** 現時点で考えられるものとして、17箇所の避難所の耐震問題、避難誘導の際の人員不足等があげられる。ハード面は優先順位をつけて順次整備する。ソフト面では防災のしくみを考え、自助、共助の育成、公助の連携をもって課題解決につなげたい。

**まとめ** 25年度当初予算で503万円の防災計画修正費が盛られている。26年3月には完成とのことだが、課題解決も含めて進めていただきたい。

### 給食における食物アレルギーへの対応

**問** アレルギー事故を防ぐ取り組みについて伺いたい。

**答（教育長）** アナフィラキシーについての正しい知識が必要。現在、保護者と打ち合わせを行い、状況把握と対策を検討している。栄養教諭と養護教諭が中心となり、保護者との確認や調整を行っている段階である。

給食調理員は現行2人体制から3人体制にする賃金、アレルギー対策の冷蔵庫購入予算は、今議会24年度補正と25年度当初で認めていただいている。児童の成長によって対応は変化するが、今後も継続した取り組みで対処したい。

**問** 保育園時代について伺いたい。アナフィラキシーの知識は職員間で共有されていたか。専門の調理員は配置されていたか。作業コーナーは別に設けられていたか。

**答** 担任・調理員・保健師・栄養士で対応し、共有できていた。専門の調理員を配置していた。作業コーナーはないが、先に対応食を作り、そのあと全体のものを作っていた。

**問** 保護者が特別な食材を持ち込まなければならない状況について、なんらかの配慮は考えられないか。

**答** 今日現在、保護者と話し合っている。今後は検討したい。

**問** アレルギー危険時の対応はどのように図られ、教職員に周知徹底されているか。

**答** 日頃から緊急時の対応を準備していなければならない。保護者との打ち合わせ及び診療所医師との連携を図り、マニュアルを作成し、新年度早々に研修を行う。

**問** 児童の進級につれて、社会見学や調理実習、修学旅行等の行事も計画される。その点も考慮されているか。

**答** 充分考慮している。教材や食事の場所も細かく打ち合わせを行っている。



## 24年度一般会計補正予算

3月定例会に一般会計補正予算として4,725万円が上程され可決された。

また2日目に追加議案として補償補填及び賠償金に187万2千円が追加上程され平成24年度歳入歳出予算の総額を各々21億9,134万円とした。

### (主な補正事業)

国庫補助建設機械整備事業として、除雪車2台の更新費に4,825万2千円

観光施設事業支出金として、スキー場事業の借金を返す補助金へ525万円

社会福祉事業費として、生活保護世帯・身体障害者該当する世帯・住民税非課税世帯などが対象者へ燃料費助成金(灯油)30万円

減額補正として、村有林造林事業等所要額を減額した。

## 2月臨時議会

2月27日に開催された臨時議会は、平成24年度一般会計補正予算(第9号)について審議された。

近年希に見る積雪により除雪機械燃料費含む使用料として665万7千円が追加され、可決された。

## 木曾広域連合臨時議会

3月25日に広域連合議会が招集され、上程された議案の審議が行われ可決された。

### (議案の内容)

平成24年度救急無線デジタル化整備事業建設工事請負契約の締結並びに、同一般会計補正予算について、9,473万2千円を入札差金に伴う減額補正、7億369万2千円が繰越明許費

## 第2回スキー場特別委員会報告

平成25年 2月8日(金)

(目的)スキー場内の施設を中心にオープンからの状況や運営上の問題点等を、スキー場側と議会側でお互いに情報交換することを目的に開いた。

### (情報交換会の一部内容)

(下出)入込みが昨年比133%となっているが、昨シーズンはシーズン券の人数カウントをしていなかったが、今年はシーズン券のカウントも行なってこの数値となっているのか。

(栗屋総支配人)今シーズンは、シーズン券の人数もカウントしてある。1日券と交換のためカウントできる。カウントした分を差し引いても今シーズンは増加している。

(胡桃澤)シーズン初め、シーズン券の交換に対するトラブルがあったようだが、現在はどうか。

(栗屋総支配人)現在はそれについてのトラブルはない。不正乗車ができないような対策として行なっているとの説明で納得してもらっている。今後モラルが良くなれば改善して行きたい。

(下出)今シーズン、集客が伸びた原因はどこにあるか。

(栗屋総支配人)ゴンドラの営業再開と5月連休

までのシーズンの長さで、シーズン券を購入し、来場するお客様が増加している。

(胡桃澤)感謝祭はどうするか。

(栗屋総支配人)村の観光総合事務所と合同で行なう予定としている。特産品を販売する方向で考えている。

(下出)登山者も入場者にカウントしているか。

(栗屋総支配人)登山者のゴンドラ乗車も入込みに入っている。スノーシューのお客も滑走具と拡大解釈をし、乗車させている。

(三浦)ロッチ三笠は何に使っているのか

(栗屋総支配人)従業員宿舎と専用バーンの打合せ場所等に使用している



次回会議はシーズン終了後に行うこととした。

# 木曾広域連合議会 2月定例会報告

木曾広域連合指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の制定

木曾広域連合指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の制定

木曾広域連合指定地域密着型サービス事業者等の指定に関する基準を定める条例の制定

木曾広域連合木曾クリーンセンター可燃ごみ処理施設解体基金条例の制定

廃棄物処理施設の設置及び管理に関する条例の一部改正

木曾広域連合障害程度区分認定審査会の委員の定数等を定める条例の一部改正

木曾広域連合ふるさと市町村圏基金条例の一部改正

木曾広域連合職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の一部改正

職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正

木曾広域連合広域計画の変更につき議会の議決を求めることについて

木曾広域圏公共サインの管理に関する事務の事務委託に関する規約の制定

平成24年度木曾広域連合一般会計補正予算(第4号)

・歳入、歳出の総額に8億483万4千円を追加し、総額を37億1,704万7千円とするもの。

**主なものは消防、救急無線デジタル化整備事業関連の7億9,872万5千円で、その内の7億9,837万6千円は25年度に繰り越すもの。**

平成24年度木曾広域連合介護保険特別会計補正予算(第4号)

・歳入、歳出の総額に14万4千円を追加し、総額を38億4,184万9千円とするもの。

平成25年度木曾広域連合一般会計予算

・歳入、歳出の総額を前年比2億137万1千円増の30億3,800万9千円とするもの。

**大きなものは消防通信指令台整備費の1億9,322万6千円がある。**

平成25年度木曾広域連合介護保険特別会計予算

・歳入、歳出の総額を前年比1億1,823万4千円増の38億9,681万3千円とするもの。

# 松塩筑木曾老人福祉施設組合議会 2月定例会報告

## (1) 提出議案

**施設組合長期継続契約とする契約を定める条例の一部改正**

給食調理の業務委託契約を単年度から複数年度とするもの。

**平成25年度松塩筑木曾老人福祉施設組合一般会計予算...総額46億5,600万円(前年度当初予算他比1.6%増)**

収入...介護費収入は処遇改善交付金終了の影響により4,375万円減。施設利用率は0.2ポイント上回る92.0%を見込み、「ピアやまがた」の大規模改修事業充当債として1億4,400万円を盛る。

支出...人件費が27億5,600万円余(59.2%)

を占める。施設環境整備事業費1億5,145万円ほか、新規事業として喀痰吸引等研修事業費として423万円などを計上した。

**平成24年度松塩筑木曾老人福祉施設組合一般会計補正予算(第2号)**

サービス収入減による財政調整基金繰入金の増額、燃料費・電気料の増額補正、落雷による桔梗荘火災報知器防災盤取替工事費

## 監査委員の選任について

現松本市代表監査委員の大出俊次(おおいでとしじ)氏を選任

## (2) 審議結果

4議案とも全会一致で可決

## 請願と陳情

3月定例会で審議された請願・陳情等の採択・不採択状況は下記のとおりです。

「地方交付税制度の堅持を求める国あて意見書採択を求める陳情書」（採択）

「TPP交渉参加断固阻止に関する陳情書」（資料配布）

以上1件の案件を採択し、関係機関へ意見書を提出した。なお、「TPP交渉参加断固阻止に関する陳情書」については、資料配布扱いとした。

## 王滝村人権擁護委員に 小谷洋子さんを選任

王滝村人権擁護委員の任期満了に伴い、堀内征二氏が退任となり、新たに小谷洋子氏が選任された。

任期は平成25年7月1日から  
平成28年6月30日まで。



## 議会日誌

### 1月

- 21日 議員定数アンケート調査配布準備
- 25日 木曽郡町村議会議長会県要望活動(長野市)
- 29日 例月出納検査(12月分)
- 31日 木曽町商工会新年賀詞交換会(木曽町)

### 2月

- 8日 スキー場特別委員会  
(おんたけ2240スキー場)
- 12日 木曽広域連合議会福祉環境常任委員会  
(木曽町 日義)
- 15日 松塩筑木曾老人福祉施設組合議会定例会  
" 松塩筑木曾老人福祉施設組合議会  
全員協議会 (塩尻市)
- 18日 木曽広域連合議会議会運営委員会  
(木曽町 日義)
- 22日 木曽広域連合議会総務常任委員会  
" 木曽広域連合議会経済観光常任委員会  
(木曽町 日義)
- 25日 例月出納検査(1月分)  
" 議会運営委員会
- 26日 長野県町村議会議長会第16回定期総会  
(長野市)
- 27日 第1回2月臨時議会
- 28日 木曽広域連合議会第1回定例会(木曽町)

### 3月

- 1日 平成25年度王滝村当初予算概要説明会
- 8日 議会3月定例会(開会)  
" 全員協議会
- 19日 小中学校卒業式
- 21日 議会3月定例会(閉会)  
" 議会だより編集特別委員会
- 22日 保育園卒園式
- 25日 木曽広域連合議会議会運営委員会  
" 木曽広域連合議会第1回臨時会(木曽町)
- 26日 例月出納検査(2月分)

### 4月

- 3日 保育園入園式
- 4日 小中学校入学式
- 5日 議会だより編集特別委員会
- 15日 議会報119号発行